

<広報資料>

2003年05月06日

バンダイグループの(株)ポピーがキャラクターミュージアム建設!

BANDA I MUSEUM

(バンダイミュージアム)

~2003年07月19日(土) 千葉県 松戸駅前にグランドオープン!~

株式会社バンダイ
本社：台東区駒形2-5-4
社長：高須武男、資本金：236億円

バンダイグループの(株)ポピー(本社：東京都台東区蔵前3-1-10 蔵前セントラルビル8階 社長：丹羽信夫 詳細別紙参照)は、2003年7月19日(土)に、JR常磐線・新京成線「松戸」駅前(住所：千葉県松戸市松戸1230-1 ピアザ松戸内)にキャラクターミュージアム【BANDA I MUSEUM(バンダイミュージアム)】(一部施設有料)をオープンさせます。

これは五百点以上にも及ぶキャラクター関連物の展示やキャラクターイベント、ミュージアム限定商品の販売などを行う施設で、創業以来半世紀にわたるバンダイグループの歩みを後世に伝えると同時に、今までにない新しい“キャラクターエンターテインメントを発信する郊外型文化施設”となります。

ファミリー層・キャラクターファン層をコアターゲットに、集客40万人(2004年2月まで)を目標としています。

■【BANDA I MUSEUM(バンダイミュージアム)】とは

(株)バンプレスト(本社：東京都台東区雷門2-16-9 社長：伍賀槌太)が本社ビルとして使用していたピアザ松戸ビルを全面改装し、3階~8階および地下1階部分(4階部分を除く)計2000坪の「キャラクターミュージアム」です。

このミュージアムはバンダイグループが過去半世紀にわたり発売してきた玩具などの展示だけでなく、キャラクター版権元の【東映(株)】【東映アニメーション(株)】【(株)円谷プロダクション】などの全面協力を得て《スーパー戦隊シリーズ》《仮面ライダー》《セーラムーン》《ウルトラマン》《機動戦士ガンダム》など人気キャラクターの常設博物館として展開します。

館内には【カフェ(3階)】【おもちゃの街(5・6階)】【キャラクター博物館(6・7階)】【ガンダムミュージアム(7・8階)】【専用シアター(地下1階)】を擁し、まさに「キャラクターの殿堂」といえる内容になっています。

一部の展示を除き、入場は無料です。物販・飲食・キャラクターショーなどの興業も行い、毎日が【驚き】【感動】【遊び】がいっぱいの施設として展開していく予定です。

■施設のご紹介

【3階/エントランス&プロローグ】（入場無料）

「BANDAI MUSEUM」の玄関であるとともに、会社や学校帰りの地元の方々も、気軽に立ち寄れるカフェを擁した「憩いの交差点」です。緑あふれるカフェと、キャラクターショップが壮大なる夢空間へのプロローグとなります。

【5・6階/おもちゃの街（仮称）】（入場無料）

ここは「ウルトラマン」や「仮面ライダー」など、2世代に親しまれているキャラクターの多くが生まれた昭和40年代をモチーフにした空間です。街全体がおもちゃ屋さんというコンセプトの元、様々な場所にバンダイ歴代玩具、五百点を展示しています。不要になったおもちゃを供養する「萬代神社」やここでしか手に入らないオリジナル商品の発売も予定しています。

【6・7階/キャラクター博物館（仮称）】（有料/300円予定）

ここは不滅のヒーローやアニメの主人公達が一堂に会する博物館です。「スーパー戦隊シリーズ」「仮面ライダー」「ウルトラマン」「スーパーロボットシリーズ」などの世界観をアカデミックに検証しています。実際に撮影で使用された衣装・小道具など展示や、キャラクターの解体図やジオラマ型年表もあり、来るたびにキャラクターの新たな魅力を発見出来る、エンターテインメント型博物館となっています。

【7・8階/ガンダムミュージアム（仮称）】（有料/300円予定）

「機動戦士ガンダム」をテーマにした世界初の博物館が誕生します。コロニー開発の背景や、番組に登場するモビルスーツ（人型汎用兵器）ザク開発の裏側、ガンダムが使用する主要兵器の検証など、様々な角度から科学的にモビルスーツを研究します。そして、リアルに再現された“ガンダムの実物大胸像”（全高約8m）もあります。監修にはガンダムを生み出したオリジナルのメインスタッフが参加。テーマ型レストラン「ガンダムカフェ」やガンダム専門ショップも併設します。

【地下1階/シアター】（有料/未定）

400名収容の多機能型ステージを擁する専用劇場です。全く新しいキャラクターエンターテインメントショーを繰り広げるこのミニシアターでは、土日祝日の日中はファミリー向けのショーを上演します。平日にはキャラクターデザイナーのトークショーや声優によるバラエティ型ショーなど様々なプログラムを随時興業してゆく予定です。

施設の外壁には、様々なキャラクターが配され「キャラクターミュージアム」を演出します。



※【BANDAI MUSEUM（バンダイミュージアム）】外観イメージ



※【BANDAI MUSEUM（バンダイミュージアム）】施設内イメージ

〈施設概要〉

施設名	: BANDAI MUSEUM (バンダイミュージアム)
場所	: 千葉県松戸市松戸1230-1 ピアザ松戸ビル内
交通	: JR常磐線「松戸駅」(営団地下鉄「千代田線」直通乗り入れ) 新京成線「松戸駅」 / 徒歩0分
グランドオープン	: 2003年07月19日(土)
営業時間	: 午前10時~午後7時(一部店舗は午前0時まで営業予定)
ターゲット	: ファミリー・キャラクターファン
施設面積	: 約2000坪
目標集客数	: 40万人(2004年2月末まで)

〈(株)ポピーの概要〉

資本金	: 8億円
従業員数	: 28人

社名の由来と主な事業内容

(株)ポピーは、2003年3月1日に(株)ユタカより社名変更をし、新たにスタートを切ったバンダイグループの会社です。

「ポピー」という名はご存じの通り、まだキャラクタービジネスが注目される以前に、超合金シリーズやジャンボマシンダーシリーズなどの名作を世に送り出してきた、いわばキャラクター商品開発の先駆的なブランド名です。今ふりかえれば、それは単なる玩具メーカー名ではなく、キャラクターという《文化の歴史》を刻んできた社名と言えます。

同社は、そのフロンティアスピリッツを継承し、ポピーをはじめグループ各社が築いた「キャラクター文化」から、新たな価値を創造してゆく新規事業を展開するために誕生しました。

それはグループ他社が行っているアミューズメント事業や、商品開発とは一線を画したもので、新生ポピーは、旧ユタカの業務を継続しながら、キャラクターとエンターテインメントを融合した「新たな“文化事業”」を展開してゆくことを目的のひとつとしています。

文化事業とは、【新たな商品】【新たな場所】【新たな時間】の3大要素を融合させた“夢あふれる空間”をプロデュースすること。例えば物販においても、バンダイ商品を取り揃えることはもちろん、当施設のオリジナル商品・限定商品の充実もはかります。

松戸からはじまる、郊外型文化施設事業

キャラクターファンは、秋葉原を中心としたコアなファンだけでなく、今や一般のファミリーや様々な世代に広がっています。生活圏の多様化に伴い郊外型施設の開発が進む昨今、BANDAI MUSEUMも身近にある“郊外型夢空間”として展開するべきと考え、当事業を長年に渡って検討してきました。2002年の松戸駅前バンプレスト本社移転計画に伴う同ビルの有効利用方法として、ついに実施することに決定したのです。

松戸駅は都心から15分の好アクセスに加え、JR常磐線、営団千代田線、そして新京成線の駅として32万人の乗降客がある、47万人の市民を擁する松戸市のターミナルステーションであるため、まさに郊外型施設として最適な場所のひとつであり、今後の事業展開を推し量る上でも最高の立地であると考えています。

報道関係の方からのお問い合わせ先
(株)バンダイ 社長室 広報チーム
大塚または中西まで

TEL 03-3847-5005
FAX 03-3847-5067

報道関係の方からのお問い合わせ先
(株)ポピー 経営企画室 広報
長谷川

TEL 03-5822-5210
FAX 03-5822-5216

報道関係の方からのお問い合わせ先
(株)ポピー バンダイミュージアム
黒川

TEL 047-331-7500
FAX 047-331-7503

お客様からのお問い合わせ先
(株)ポピー バンダイミュージアム

TEL 047-331-7501

バンダイホームページ : <http://www.bandai.co.jp/>